

## 豊田市中核製材工場の実施事業者の決定

### 1 実施事業者

企業の名称 西垣林業株式会社  
本社所在地 奈良県桜井市大字戒重137番地  
代表者氏名 代表取締役社長 西垣 泰幸  
資本金 7,500万円  
従業員 127人

【事業所】※複数本社制  
・桜井本社（奈良県）  
山林経営、原木市場、国産材製材等  
・名古屋本社（愛知県）  
製品市場、建築工事請負等  
・舞鶴工場（京都府）、浜松工場（静岡県）、  
酒田工場（山形県）  
外国産材製材等 ほか

### 2 事業計画の概要

設備計画 製材工場棟（延べ床面積約3,000㎡）、製品保管庫、中温乾燥機、高温乾燥機ほか  
生産計画 原木取扱量45,000㎡ ※操業5年度の想定  
製品計画 ヒノキ柱及び土台（JAS認定）、ヒノキ板類、  
スギ柱（JAS認定）、スギ間柱及び板類、チップ材  
特 色 地域材のブランド化、自社製品市場の堅実な販路と、市場情報を生かした製品開発

### 3 決定に係る評価のポイント

平成27年6月5日に募集要項を公表し、製材工場を運営する実施事業者の募集したところ、全国から3者の応募があり、森林、木材利用等の専門的知見を有する委員（6名）で構成する選考委員会による審査を経て、実施事業者を決定した。決定に係る評価ポイントは以下のとおり。

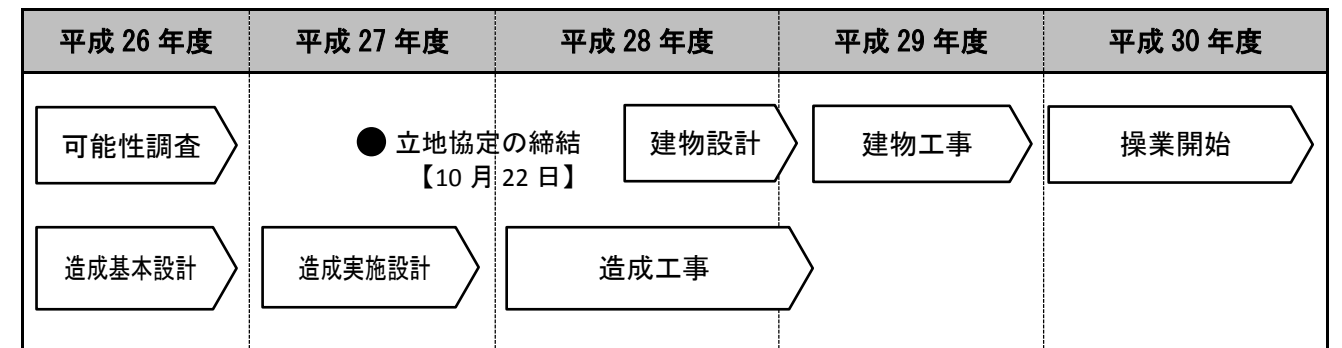
#### (1) 原木生産（川上）から製品販売（川下）まで一貫した木材産業への関わり

- ・自社で山林を所有し、素材生産（原木生産）のノウハウを地域に波及させることができるとともに、自ら原木市場を運営し、原木調達に必要な需要動向の知見を有する。
- ・ヒノキを含めた住宅用構造材の量産や寺社仏閣用材等の国産材の生産設備を有し、製材における実績が豊富である。
- ・周辺地域を含めた既存の木材産業（地域の製材工場等）と、互いに得意分野で補完しあう相互連携が期待できる。
- ・本市の樹種構成の特徴であるヒノキを主体とした生産計画であり、地域材の有効活用が期待できる。
- ・名古屋市内に名古屋本社及び製品市場を置き、長年に亘り東海地域での営業実績があるとともに、マーケット情報を製品開発や生産計画に反映することができる。

#### (2) 企業姿勢

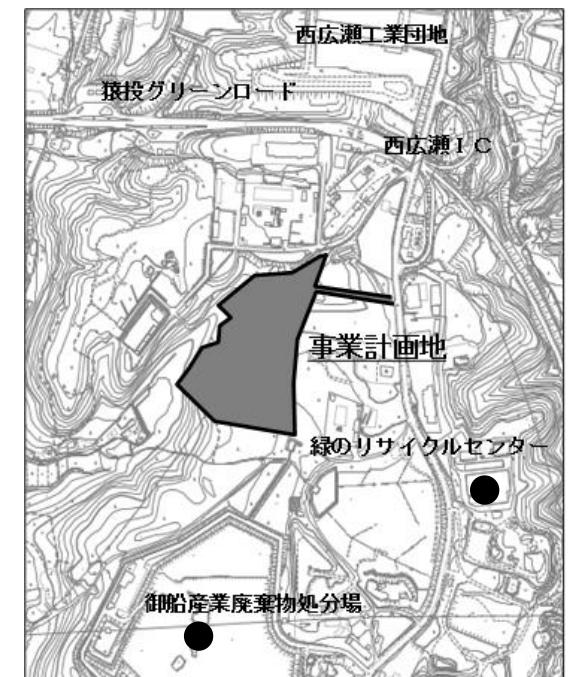
- ・社として豊田市のプロジェクトを重点的に位置づけ、製材工場の運営に意欲的であることに加え、豊田市産材のブランド化に対して前向きな取組の姿勢がみられる。
- ・周辺環境対策、安全管理体制などに対し必要な考慮がされており、定期的な地元工場見学会を計画するなど、地域と共生する工場づくりを目指している。
- ・借入金に依存しない資金計画など、財務的に自立性の高い事業計画である。

### 4 操業開始に向けたスケジュール



### 参考1 事業概要

- (1) 事業手法  
市有地において市が造成工事を行い、賃貸借契約を締結した上で、実施事業者が製材工場を建設し、運営する民設民営方式
- (2) 事業計画地  
豊田市御船町山ノ神56-116ほか2筆
- (3) 面積  
開発区域面積：約52,500㎡  
工場用地面積：約30,000㎡
- (4) 想定規模  
国産材を主体に、年間の原木消費量が3～5万㎡程度以上



### 参考2 募集に係る経緯

募集要項の公表	6月5日（金）	募集要項の公表、参加表明書の受付開始
説明会・現地確認	6月19日（金）	募集要項の説明、事業計画地の見学
参加表明書の提出	～7月21日（火）	応募者による参加表明書の提出（5者）
事業計画書の提出	～8月31日（月）	応募者による事業計画書の提出（3者）
プレゼンテーション	9月25日（金）	応募者によるプレゼンテーション（3者）
立地協定書（覚書）締結	10月22日（木）	実施事業者と立地協定書（覚書）を締結

中核製材工場位置図

